

INNOPROM2018

日ロ産業セッション 「デジタル時代の日ロ協業のポテンシャル」

2018年6月29日
日露貿易投資促進機構事務局
((一社)ロシア NIS 貿易会)

エカテリンブルグで開催される産業総合博覧会INNOPROM 2018の開催(7月9日~12日)にあわせ、同博覧会の会場(The International exhibition centre "Ekaterinburg-EXPO")内において博覧会参加者を対象として、7月9日(月)に日ロ産業セッション「デジタル時代の日ロ協業のポテンシャル」を開催致します。

現在、日本では Society 5.0、Connected Industries といったコンセプトで超スマート社会の実現とデジタル技術による新しい価値創出を推進しています。他方、ロシアにおいても 2017 年に「デジタル経済プログラム」が採択されるなど、デジタルトランスフォーメーションへの取り組みを積極化しているところです。こうした状況を背景に、デジタル分野における協力の推進に向けて、2017年9月に日ロ両国政府は「デジタル経済に関する協力に係る共同声明」に調印し、それを具体化するために本年5月にはデジタル経済協力の「共同行動計画」を策定しました。

本セッションでは、今後、デジタル化を通じて、生産性の向上をはじめとする産業分野の発展にどのように貢献できるか等について、日ロ双方の政府や企業の代表がそれぞれの立場から報告を行い、デジタル時代の両国の未来と協力の可能性を探ります。

なお、本イベントは、産業総合博覧会 INNOPROM 2018(www.innoprom.com)の参加者を対象としており、INNOPROM 2018 へ参加登録済みの方は誰でも参加が可能です。

会議名：日ロ産業セッション「デジタル時代の日ロ協業のポテンシャル」

日時：2018年7月9日(月) 13:00~14:30

場所：国際展示センター「エカテリンブルグ EXPO」 [Pavilion 4, HALL 2](#)

モデレーター：入野泰一 日本貿易振興機構(ジェトロ)理事

パネリスト：

(日本側)

中川 勉 経済産業省 通商政策局 審議官(通商戦略担当)

原田宏之 ファナック 執行役員 兼 FANUC Europe Corporation S.A.
Executive Vice President

植村憲嗣 三菱電機 執行役員・産業政策渉外室室長

荒尾和宏 マゼランシステムズジャパン 営業部長

(ロシア側)

ボチャロフ産業商務省次官(予定)

アルタモノフ・カルーガ州知事

シュヴェツォフ・ソラーズ社長(予定)

ミシャーリン・ロシア鉄道副社長

フロントロー発言者：

ジミトロフ 電子取引プラットフォーム協会専務理事

ゴロヴチェンコ ENSO ローファーム代表

言語：日本語及びロシア語(同時通訳)

参加者数：60~80名

本件担当：(一社)ロシア NIS 貿易会 ロシア NIS 経済研究所 中居、輪島、長谷

TEL:03-3551-6218 Email: webmaster@rotobo.or.jp